

2021年3月期 報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで



日本酸素ホールディングス

証券コード 4091



The Gas Professionals 進取と共創。ガスで未来を拓く。

Proactive. Innovative. Collaborative.
Making life better through gas technology.



私たちは、革新的なガスソリューションにより社会に新たな価値を提供し、あらゆる産業の発展に貢献すると共に、人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざします。

We aim to create social value through innovative gas solutions that increase industrial productivity, enhance human well-being and contribute to a more sustainable future.

目次

株主の皆様へ.....	2	連結計算書類.....	7
事業報告.....	3	トピックス紹介.....	9
		株主メモ.....	11

株主の皆様へ

代表取締役社長 CEO

濱田 敏彦



株主の皆様には、平素から当社の事業運営に格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の2021年3月期報告書をお届けするに当たり、謹んでご挨拶申し上げます。

当期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、第1四半期は大きく後退しましたが、その後、各国での大規模な財政出動の効果もあり、特に製造業では、需要が着実に回復しました。

このような状況の下、当社は、グループ一丸となってコスト削減、業務の合理化に取り組んでまいりましたが、残念ながら当期の業績は売上収益、コア営業利益とも前期比マイナスとなりました。

しかしながら、当期の期末配当金につきましては、当期の利益水準と財政状態を勘案して2円増配し、1株につき16円とさせていただきます。これにより中間配当と合わせて、当期の配当は30円となります。

当社グループは、これからも産業ガス・医療用ガスの供給という社会のインフラとしての使命を継続することができるよう一体となって努力してまいります。

株主の皆様には、引き続き倍旧のご高配、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

1. 企業集団の現況

(1) 当事業年度の事業の状況

① 事業の経過および成果

当期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）における当社グループの事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により、第1四半期では進出国および地域において大幅な景気低迷と需要減退の局面を迎え、製造業の生産活動も急速に減速・停滞しておりました。しかし第2四半期に入り全般的に回復の兆しが現れはじめ、第3四半期からセパレートガス（酸素、窒素、アルゴン）の出荷は緩やかに復調してまいりましたが、前期に比べて大きく減少しました。

このような状況の下、当期における業績は、売上収益8,182億38百万円（前期比 3.8%減少）、コア営業利益872億51百万円（同 3.4%減少）、営業利益888億46百万円（同 5.4%減少）、親会社の所有者に帰属する当期利益552億14百万円（同 3.5%増加）となりました。

なお、コア営業利益は営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

セグメント業績は、次ページ以降のとおりです。なお、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

連結業績実績

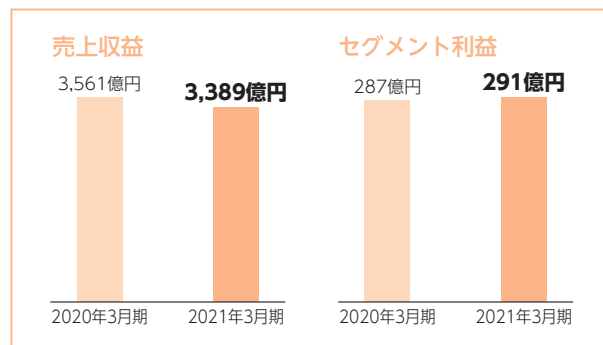
(百万円未満切捨て)



国内ガス事業

売上収益 3,389億38百万円 (前期比 4.8%減)

セグメント利益 291億24百万円 (前期比 1.3%増)



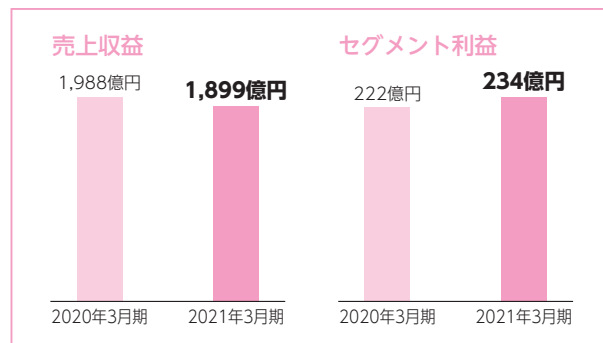
産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの売上収益は、関連業界での生産活動が低調に推移し、前期に比べ大きく減少しました。一方、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの売上収益は増加しました。機器・工事では、エレクトロニクス関連で大きく増収となりましたが、空気分離装置や金属加工向けの溶接・溶断関連機材を中心に前期を大きく下回りました。

以上の結果、国内ガス事業の売上収益は、3,389億38百万円（前期比 4.8%減少）、セグメント利益は、291億24百万円（同 1.3%増加）となりました。

米国ガス事業

売上収益 1,899億94百万円 (前期比 4.5%減)

セグメント利益 234億55百万円 (前期比 5.4%増)



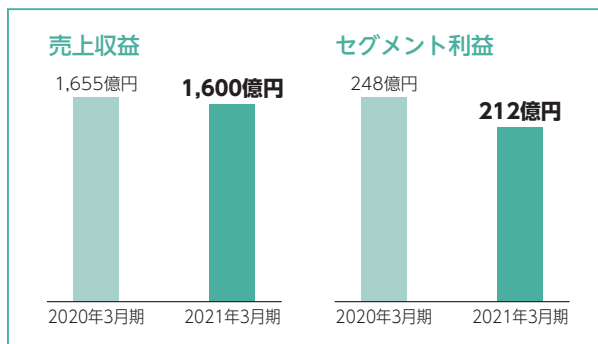
産業ガス関連では、パッケージ・バルクガスを中心に、主力製品であるセパレートガスの売上収益は大きく減少しました。オンサイトでは、供給先の需要低下の影響で前期を下回りました。機器・工事では、エレクトロニクス関連での売上収益は増加しましたが、金属加工向けの溶接・溶断関連機材では減収となりました。

以上の結果、米国ガス事業の売上収益は、1,899億94百万円（前期比 4.5%減少）、セグメント利益は、234億55百万円（同 5.4%増加）となりました。

欧州ガス事業

売上収益 1,600億35百万円 (前期比 3.3%減)

セグメント利益 212億54百万円 (前期比 14.5%減)



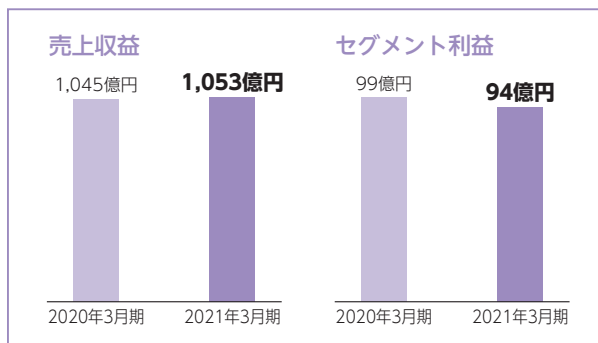
主要地域となるイベリア（スペイン・ポルトガル）、ドイツ、イタリアでは、生産活動全般で停滞が生じたことにより、パッケージ、バルクガスおよびオンサイトの需要は大きく落ち込みましたが、第3四半期から徐々に回復基調に入りました。機器・工事の需要は当期を通じて低調でした。

以上の結果、欧州ガス事業の売上収益は、1,600億35百万円（前期比 3.3%減少）、セグメント利益は、212億54百万円（同 14.5%減少）となりました。

アジア・オセアニアガス事業

売上収益 1,053億5百万円 (前期比 0.7%増)

セグメント利益 94億97百万円 (前期比 4.6%減)



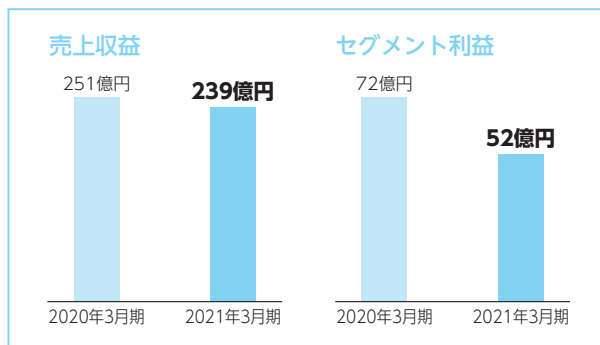
産業ガス関連では、一部地域での都市部封鎖や製造業の生産活動停滞の影響を受け、主力製品であるセパレートガスの売上収益は減少しましたが、エレクトロニクス関連では、東アジアでの電子材料ガスの出荷は好調でした。LPガスでは、仕入での契約価格低下による販売単価の下落はありましたが、豪州での出荷は堅調でした。機器・工事では、台湾で大型の工事案件がなかったこと、シンガポールでのスポット案件の減少に加え、金属加工向け溶接・溶断関連機材の需要も低調でした。

以上の結果、アジア・オセアニアガス事業の売上収益は、1,053億5百万円（前期比 0.7%増加）、セグメント利益は、94億97百万円（同 4.6%減少）となりました。

サーモス事業

売上収益 239億64百万円 (前期比 4.6%減)

セグメント利益 52億29百万円 (前期比27.6%減)



サーモス事業は、国内では、国・地方自治体による外出制限や営業自粛要請等により、行楽シーズンでの販売機会を喪失した影響が大きく、主力製品のケータイマグの売上収益は大きく減少しました。一方、自宅で過ごす時間の長い新たなライフスタイルが浸透したことに関連し、フライパンやタンブラーの販売数量は大きく増加しました。海外では、販売地域での景気減退の影響を受けましたが、出荷数量は増加しました。

以上の結果、サーモス事業の売上収益は、239億64百万円(前期比 4.6%減少)、セグメント利益は、52億29百万円(同27.6%減少)となりました。

連結計算書類

連結財政状態計算書 (2021年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産		負債	
流動資産	368,901	流動負債	326,019
現金及び現金同等物	91,058	営業債務	96,093
営業債権	182,077	社債及び借入金	131,721
棚卸資産	69,613	未払法人所得税	11,022
その他の金融資産	6,710	その他の金融負債	58,428
その他の流動資産	19,441	引当金	469
非流動資産	1,467,393	その他の流動負債	28,284
有形固定資産	685,733	非流動負債	966,374
のれん	455,036	社債及び借入金	780,895
無形資産	237,751	その他の金融負債	29,453
持分法で会計処理されている投資	32,295	退職給付に係る負債	14,037
その他の金融資産	49,739	引当金	3,870
退職給付に係る資産	2,467	その他の非流動負債	19,359
その他の非流動資産	1,120	繰延税金負債	118,757
繰延税金資産	3,249	負債合計	1,292,394
		資本	
		親会社の所有者に帰属する持分合計	513,164
		資本金	37,344
		資本剰余金	55,901
		自己株式	△ 273
		利益剰余金	422,838
		その他の資本の構成要素	△ 2,646
		非支配持分	30,736
		資本合計	543,900
資産合計	1,836,294	負債及び資本合計	1,836,294

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上収益	818,238
売上原価	△ 500,799
売上総利益	317,439
販売費及び一般管理費	△ 233,276
その他の営業収益	3,949
その他の営業費用	△ 4,867
持分法による投資利益	5,602
営業利益	88,846
金融収益	1,424
金融費用	△ 12,564
税引前利益	77,706
法人所得税	△ 20,842
当期利益	56,863
当期利益の帰属	
親会社の所有者	55,214
非支配持分	1,648

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

日本酸素ホールディングスグループ サステナビリティ関連活動紹介



「The Gas Professionals」として、最先端の技術と人と自然の調和により、 サステナブル(持続可能)な成長、企業価値のさらなる向上を目指しています。

近年、産業活動等による温室効果ガスの排出について、地球温暖化が加速するおそれに対する社会的な関心が高まってきており、地球規模での環境問題やさまざまな社会課題の早期解決が強く求められています。

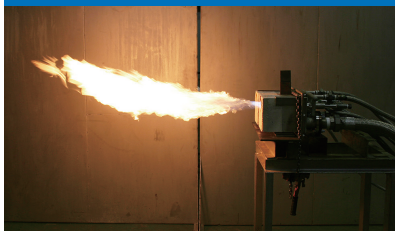
また、財務面だけでなく非財務面の取組みも、当社グループの持続的な発展に重要であり、環境・社会・ガバナンス(ESG)関連施策の推進を加速しています。

これまで、産業ガス事業を基盤として、ガステクノロジーを通じて、あらゆる産業に貢献してきました。2019年には気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)に賛同し、非財務情報開示の充実を図っています。2020年10月に持株会社体制となり、グローバルに活動する企業グループとして、より広い視野で、サステナビリティ活動に注力していきます。

産業ガスを通じた貢献は、幅広い分野に及んでいます

「進取」の気概で社会の変化を敏感にとらえ、事業活動を通じた社会課題の解決と、経済価値の創出をめざしています。

産業への貢献



省エネルギーやCO₂排出やNO_x発生の削減に貢献する技術として、高温の加熱炉や溶解炉等、さまざまな用途に向けた酸素富化燃焼の技術開発を行っています。

食品問題への貢献



食品の腐敗を遅らせ、消費期限切れによる廃棄を減らすため、食品パッケージ内に不活性ガスを封入する包装が普及しており、ガス供給と設備提供を通じて、フードロスに貢献しています。

医療への貢献

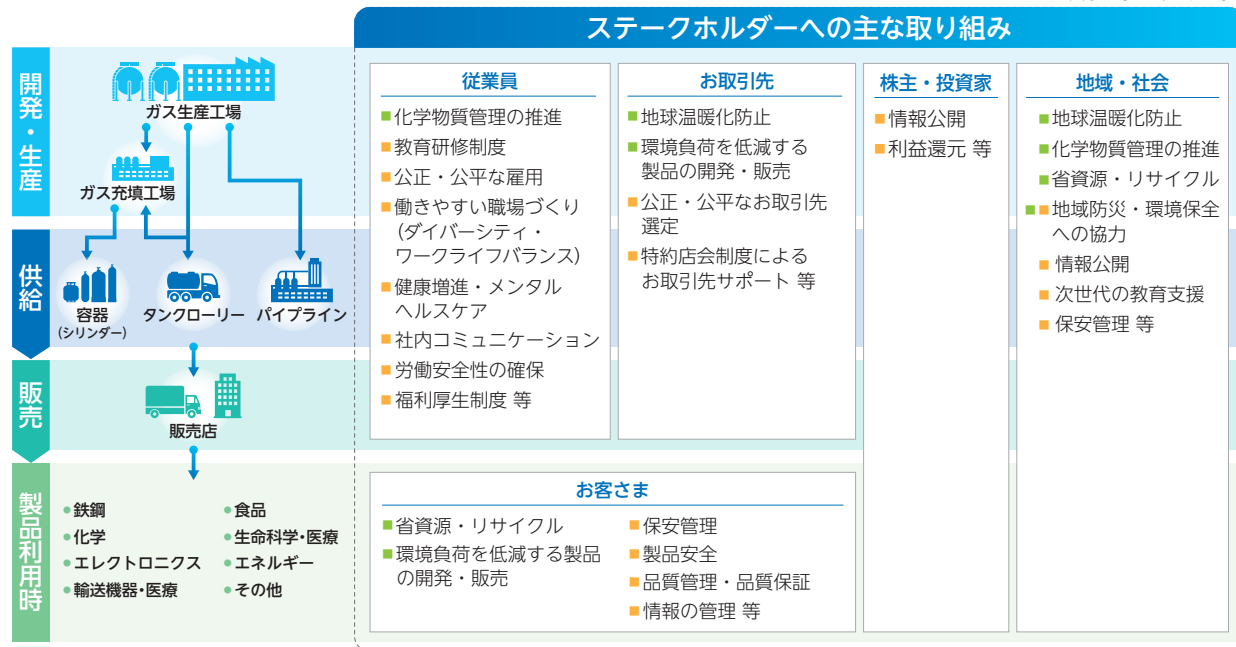


ガンの早期発見・診断法として普及しているPET(陽電子放出断層撮影)検査の診断薬原料の「Water-18O」を世界で初めて酸素蒸留で製造し、国内外の35カ国に安定供給しています。

バリューチェーン全体を通じた環境・社会活動

事業活動のすべてのプロセス(バリューチェーン)において、ステークホルダーにどのような影響を与えるかを認識し、想定されるリスクを回避・軽減するためのさまざまな活動を行っています。

■環境活動 ■社会活動



SDGsへの貢献

主な製品である酸素、窒素、アルゴンは、自然のめぐみともいえる空気が原料です。当社グループにおいても、地球環境はかけがえのない存在であり、この環境を持続可能な状態で維持し将来につなげていくことは、当然の使命だと考えています。

加えて、当社グループにおけるESGに関する重要課題を策定し、事業を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)に貢献していきます。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
定時株主総会	6月に開催	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	

公告方法	当社ウェブサイト (https://www.nipponsanso-hd.co.jp/)に掲載します。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
	上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所
証券コード	4091
単元株式数	100株

株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く午前9時～午後5時)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱致します。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では、取次のみとなります。)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。



日本酸素ホールディングス

